

あかるいまち 21

No.1562 2022年12月10日
組合員活動推進課 082-532-1264

	12月	2022年度
組合員ふやし	42人	963人
出資金ふやし	289万円	9,108万円
純増	168万円	639万円

4支部より参加 湯来支部主催 瀬戸の滝ウォーク



十方山登山口は車が10台分置ける広さがあり、トイレも設置されて登山者が多いことを思わせました。11時に集合して、準備運動や参加者の自己紹介もして出発しました。瀬戸の滝への道はトイレを挟んで川のある方の山道を渡りました。途中、道が川の右から左へと橋を渡り、また左へ渡って30分くらいで滝が見えました。滝の正面に着いて休憩しながら眺めました。牧野さんによるとこの滝は2段になっていて、1段目は陰で見え

にくいですが、少し横へ行けば見えますと案内してくださいました。実際横に行ってみると、1段目も見えました。1段目にも滝つぼがあるようで、水は横に移動して2段目となって落下していました。滝の正面の崖の上に案内板があり、それによれば、滝の高さは1段目が19m、2段目が28m、1段目の滝壺の大きさ15m、2段目の滝つぼの深さ3m、この滝の別名は「蛟龍の滝」とありました。滝の水量は多くありませんが常に流れていて、下流へと川になって流れています。

ちょうどお昼になったので、みんなで腰を下ろして弁当にして休憩、誰かが「栃の実があった」と拾っていました。ここは日陰で動かずにいると寒いので早々に下山を始め、登山口まで全員下山しました。牧野さんの挨拶があり、整理運動をして解散しました。

瀬戸の滝への道は整備されていないため、川の崖のふちを歩くところもあって、用心して歩きました。川を横切る橋も、昔は木橋であったと思いますが、今では鉄骨の橋で手すりもついていて、安心して渡れます。この滝のために鉄骨橋が出来ていることは名所としてくる人が多いからであろうと思いました。 記・石井 康夫



※投稿された原文のまま掲載いたしました。